

令和2年度事務事業評価表(平成31年度振り返り)

事務事業名	060301 交通安全施設整備事業		新規/継続
			継続
政策名	03 住みやすさを感じるまち		
施策名	06 生活の安全・安心の向上		
基本事業名	03 交通安全の推進		
所管課係名	管理課 道路・河川施設担当	所管課長名	吉川 雅継

事業の概要

根拠法令等	<input type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) 終期		
	(国) 道路法第16条		
補助事業	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 行政補完的 <input type="checkbox"/> 政策的	給付事業	<input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し		
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当 廃止予定の有無 <input type="checkbox"/> 該当		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金		
近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市		
その他	実行プラン <input type="checkbox"/> 対象 外部評価 <input type="checkbox"/> 対象	内部管理事業等	<input type="checkbox"/> 該当

事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	市・道路管理者が設置する交通安全施設
事業内容・活動手段	道路附属物である交通安全施設の新設整備。
目的・意図	本事業は、交通安全施設を新設整備することにより、交通事故の発生抑制を図り、安全・安心な交通環境の向上を図ることを目的とする。

活動指標(手段の数値指標化)

指標名	道路反射鏡・防護柵等の設置数		単位	箇所
実績値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	33	54	71	

成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	施策成果等アンケート調査による市内の道路を通行するときに危ないと思う市民の割合		単位	%
指標の種類	減少を目指す指標		現年度目標値	71
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
目標値	60	60	71	
実績値	69	71	未把握	

事業費・人件費等

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
事業費(実績額)①(千円)		18,033	16,033	22,592	
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0	
		都	2,500	1,256	3,090
		その他	0	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	15,533	14,777	19,502
	一般財源	0	0	0	
人件費(理論値)②(千円)		8,488	4,509	3,050	
トータルコスト①+②(千円)		26,521	20,542	25,642	
単位当たりコスト(円)		803,667	380,407	361,155	
目標達成率(%)		87	85	-	

評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和3年度の方向性	現状維持
説明				総合評価(課題・方向性)	
道路パトロールによる巡回や市民からの要望を受け、道路利用者の安全性の向上を図る必要性から改善・改正の余地はない。				交通危険箇所を把握し、対策を講じることは道路管理者の責務であるため、今後も事業を継続していく必要がある。	
効率性	3	達成度	3		
説明					
活動指標及び成果指標である施設整備の件数やその整備内容は、年度により異なり、事業費は、整備件数が増加したため増額となった。一方、人件費は、平成31年度、係内事務分担の見直しにより減額となった。以上より、結果として整備件数の増加により単位当たりコストは減額となった。					

令和2年度事務事業評価表(平成31年度振り返り)

事務事業名	060302 交通安全施設維持管理事業		新規/継続
			継続
政策名	03 住みやすさを感じるまち		
施策名	06 生活の安全・安心の向上		
基本事業名	03 交通安全の推進		
所管課係名	管理課 道路・河川施設担当	所管課長名	吉川 雅継

事業の概要

根拠法令等	<input type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) 終期		
	(国) 道路法第16条・42条		
補助事業	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 行政補完的 <input type="checkbox"/> 政策的	給付事業	<input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し		
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当 廃止予定の有無 <input type="checkbox"/> 該当		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金		
近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市		
その他	実行プラン <input type="checkbox"/> 対象 外部評価 <input type="checkbox"/> 対象	内部管理事業等	<input type="checkbox"/> 該当

事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	道路管理者が管理する交通安全施設
事業内容・活動手段	道路附属物である交通安全施設の維持管理(修繕、定期点検等)。
目的・意図	本事業は、交通安全施設を適正に維持管理することにより、交通事故の発生抑制を図り、安全・安心な交通環境の向上を図ることを目的とする。

活動指標(手段の数値指標化)

指標名	交通安全施設(反射鏡・防護柵等)の修繕数		単位	箇所
実績値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	86	110	88	

成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	交通安全施設の維持管理に起因する賠償件数		単位	件
指標の種類	減少を目指す指標		現年度目標値	0
目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	0	0	0	
実績値	0	0	0	

事業費・人件費等

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費(実績額)①(千円)		10,629	10,634	9,617
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	0	0
		その他	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
		10,629	10,634	9,617
人件費(理論値)②(千円)		4,077	5,530	4,934
トータルコスト①+②(千円)		14,706	16,164	14,551
単位当たりコスト(円)		171,000	146,945	165,352
目標達成率(%)		100	100	100

評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和3年度の方向性	現状維持
説明				総合評価(課題・方向性)	
道路パトロールによる巡回や市民からの要望を受け、道路利用者の安全性の向上を図る必要性から改善・改正の余地はない。				市道利用者を交通事故から未然に防ぐため、設置した交通安全施設(道路反射鏡、防護柵等)を適正に維持管理することは、道路管理者の責務であるため、今後も継続していく必要がある。	
効率性	2	達成度	3		
説明					
活動指標である施設修繕の件数やその修繕内容は年度により異なり、事業費は、修繕件数が減少したため減額となった。一方、人件費は、大幅な変動は生じていない。以上より、結果として修繕件数の減少により単位当たりコストは増額となった。					

令和2年度事務事業評価表(平成31年度振り返り)

事務事業名	060303 交通安全対策啓発事業		新規/継続
			新規
政策名	03 住みやすさを感じるまち		
施策名	06 生活の安全・安心の向上		
基本事業名	03 交通安全の推進		
所管課係名	管理課 管理調整担当	所管課長名	吉川 雅継

事業の概要

根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) 終期		
	東久留米市交通安全計画		
補助事業	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 行政補完的 <input type="checkbox"/> 政策的	給付事業	<input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し		
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止予定の有無 <input type="checkbox"/> 該当		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金		
近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市		
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行プラン <input type="checkbox"/> 対象	<input type="checkbox"/> 外部評価 <input type="checkbox"/> 対象	<input type="checkbox"/> 内部管理事業等 <input type="checkbox"/> 該当

事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	市民(自動車・バイク・自転車等の利用者、歩行者)
事業内容・活動手段	所轄警察署、東久留米市交通安全協会等とともに小学校を対象とした交通安全教室(歩行・自転車)及び中学校を対象としたスタントマンを活用したスクエアードストレイ方式による交通安全教室の開催、交通安全運動期間中における街頭指導や運転者講習会の開催を通じて啓発活動を実施した。
目的・意図	交通事故の発生の抑止を推進する。

活動指標(手段の数値指標化)

指標名	運転者講習会、交通安全キャンペーン等の開催日数			単位	日
実績値	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	42	33	33		

成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	交通事故による年間の死傷者数			単位	人
指標の種類	減少を目指す指標		現年度目標値	260	
	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
目標値	260	260	260		
実績値	316	301	297		

事業費・人件費等

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費(実績額)①(千円)		1,173	1,388	1,047
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	0	0
		その他	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
		1,173	1,388	1,047
人件費(理論値)②(千円)		650	665	627
トータルコスト①+②(千円)		1,823	2,053	1,674
単位当たりコスト(円)		43,405	62,212	50,727
目標達成率(%)		82	86	88

評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和3年度の方向性	現状維持
説明				総合評価(課題・方向性)	
市民を対象に交通安全の向上を図るため、所轄警察署、東久留米市交通安全協会等と連携し、交通安全啓発を行う事業のため、業務フローの改善及び制度改正の余地はない。				所轄警察署、東久留米市交通安全協会等とともに小学校を対象とした交通安全教室や中学校を対象としたスタントマンを活用したスクエアードストレイ方式による交通安全教室を開催するなど、小中学校に対して交通安全啓発活動を実施している。 また、春と秋の全国交通安全運動、TOKYO交通安全キャンペーン(冬)等の期間中に広報及び啓発活動を行い、交通安全意識の向上、交通ルール・マナーの体得に効果がある。 今後は事業の効率性の改善を図りながら、交通安全啓発活動を進め、交通事故の減少に努めていく。	
効率性	4	達成度	2		
説明					
活動指標である講習会等の開催日数については年度により異なり、事業費の大幅な変動は生じていない。 一方、人件費は、平成31年度の係内事務分担の見直しにより人件費が減額となった。 以上より、結果として単位当たりコストは減額となった。					

令和2年度事務事業評価表(平成31年度振り返り)

事務事業名	060304 交通安全協会支援事業		新規/継続 新規
政策名	03 住みやすさを感じるまち		
施策名	06 生活の安全・安心の向上		
基本事業名	03 交通安全の推進		
所管課係名	管理課 管理調整担当	所管課長名	吉川 雅継

事業の概要

根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) 終期		
補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 行政補完的 <input type="checkbox"/> 政策的	給付事業	<input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し		
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当 廃止予定の有無 <input type="checkbox"/> 該当		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金		
近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市		
その他	実行プラン <input type="checkbox"/> 対象 外部評価 <input type="checkbox"/> 対象	内部管理事業等	<input type="checkbox"/> 該当

事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	東久留米市交通安全協会
事業内容	様々な交通安全活動を行う東久留米市交通安全協会への一部補助を行う。
活動手段	全国交通安全運動、自転車安全利用キャンペーン等
目的	市民の交通安全意識の向上を図り、交通事故の発生の抑止を推進する。
意図	

活動指標(手段の数値指標化)

指標名	補助金交付件数	単位	件
実績値	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	1	1	1

成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	交通安全協会が各種行事で行った交通安全活動・キャンペーン等の活動日数	単位	日
指標の種類	増加を目指す指標	現年度目標値	40
目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	40	40	40
実績値	41	40	40

事業費・人件費等

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費(実績額)①(千円)		1,800	1,800	1,800
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	0	0
		その他	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
		1,800	1,800	1,800
人件費(理論値)②(千円)		867	886	897
トータルコスト①+②(千円)		2,667	2,686	2,697
単位当たりコスト(円)		2,667,000	2,686,000	2,697,000
目標達成率(%)		103	100	100

評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和3年度の方向性	現状維持
説明			総合評価(課題・方向性)		
東久留米市交通安全協会は、市内の交通安全の向上に向けて市民へ広報及び啓発等の様々な活動に取り組んでいるため、改善・改正の余地はない。			東久留米市交通安全協会は、市内において様々な交通安全広報及び啓発活動に取り組んでおり、市民の交通安全意識の向上に寄与している。今後も東久留米市交通安全協会への支援を通じて市域の交通安全の確保や市民の交通安全意識の向上に努めていく。		
効率性	3	達成度	3		
説明					
成果指標である東久留米市交通安全協会の活動日数の変更はなく、事業費は、広報及び啓発等の様々な活動から、補助金交付限度額(予算限度額)となり、当面、横ばい傾向が続くものと考えられる。 一方、人件費は、大幅な変動は生じていない。 以上より、結果として単位当たりコストの大幅な変動は生じていない。					

令和2年度事務事業評価表(平成31年度振り返り)

事務事業名	060305 新入学児童交通安全指導事業		新規/継続 新規
政策名	03 住みやすさを感じるまち		
施策名	06 生活の安全・安心の向上		
基本事業名	03 交通安全の推進		
所管課係名	管理課 管理調整担当	所管課長名	吉川 雅継

事業の概要

根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) 終期		
	東久留米市交通安全計画		
補助事業	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 行政補完的 <input type="checkbox"/> 政策的	給付事業	<input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し		
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当 廃止予定の有無 <input type="checkbox"/> 該当		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金		
近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市		
その他	実行プラン <input type="checkbox"/> 対象 外部評価 <input type="checkbox"/> 対象	内部管理事業等	<input type="checkbox"/> 該当

事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	市内小学校新入学児童
事業内容 ・ 活動手段	所轄警察署、東久留米自動車教習所、東久留米市交通安全協会等とともに毎年4月初旬に「交通安全の集い」を開催し、新入学児童に対する交通安全指導や交通安全に関する人形劇の講演等を実施。
目的 ・ 意図	交通事故の発生の抑止を推進する。

活動指標(手段の数値指標化)

指標名	新入学児童交通安全指導日数		単位	日
実績値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	1	1	1	

成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	新入学児童交通安全指導参加人数		単位	人
指標の種類	増加を目指す指標		現年度目標値	50
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
目標値	46	50	50	
実績値	52	63	71	

事業費・人件費等

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費(実績額)①(千円)		689	694	724
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	0	0
		その他	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
	一般財源	689	694	724
人件費(理論値)②(千円)		173	177	179
トータルコスト①+②(千円)		862	871	903
単位当たりコスト(円)		862,000	871,000	903,000
目標達成率(%)		113	120%以上	120%以上

評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和3年度の方向性	現状維持
説明				総合評価(課題・方向性)	
市内小学校新入学児童を対象に交通安全の向上を図るため、所管警察署、東久留米自動車教習所、東久留米市交通安全協会等と連携し、交通安全啓発を行なう事業「交通安全の集い」のため、改善・改正の余地はない。				市内小学校新入学児童を対象に交通安全の向上を図るため、所管警察署、東久留米市自動車教習所、東久留米市交通安全協会等と連携し、交通安全啓発を行う事業である。本事業における人形劇の講演や信号機の渡り方等の体験から交通ルールを体得しており、交通安全運動に対して積極的に取り組んでいる。今後も本事業を継続し、児童の交通事故防止に努めていく。	
効率性	3	達成度	5		
説明					
活動指標である「交通安全の集い」は、例年1回開催しており、事業費の大幅な変動はない。一方、人件費は、平成31年度の係内事務分担の見直しにより、人件費が微増となった。以上より、結果として単位当たりコストは増額となった。					